

❖ はじめに

「受験古文」といえば、「つまらない」「めんどくさい」「ただの暗記もの」……という暗くおもいイメージが、まず頭に浮かびます。本来は、「古文」といっても所詮は日本語のだし、それほど難しく考えなくてもなんとなく読めるはずで。まして「古文」には、「愛」だの「恋」だのといった、受験生諸君が最も興味を持ち、敏感に反応しそうな内容がたくさん登場するというのに、どうしてそんなに嫌われてしまうのでしょうか。古典文学を素材とした漫画やゲームが人気を博し、安倍晴明がもてはやされるというのに、どうして「古文」が読んでもらえないのでしょうか。これはひとえに「古典文法」・特にあの「助動詞」のせいではないかと思うのです。ストーリーをとらえ、味わうことについて、「古文」のおもしろみを否定することはできません。それでなければ、「源氏物語」や「枕草子」が、千年もの年月を経て、現在まで残っているはずがないではありませんか。それなのに、これがいったん「受験」という冠をかぶせられ、「受験古文」と呼ばれるものになると、突然、「文法・語法」やら「単語」やらの比重が大きくなって、その厚い壁に阻まれて、「古文」そのもののおもしろさが見えなくなってしまうのです。

それではあまりにもつたいない、なんとか「古文」を好きになってもらいたいと、私たち講師はつねづね考えているのですが、なかなかよい方法が見つかりません。一つの方法としては、「古典文法」などは完全に無視して、ほとんど「古文」の文章を読んでいくというのがあります。これは、必ず効果が期待できますが、まず第一に大変な時間と労力を要します。そのうえ、大学入試に対応しているとはいえず、即得点には結びつきません。「古文」のおもしろさを分かってほしいといっても、結局のところ受験生の目標は大学合格なので、それはないがしろにするわけにはいかないのです。もう一つの方法としては、手っ取り早く「文法力」を身につけてしまおうというやり方です。「古典文法」の細部にまでこだわって、「動詞」を勉強しただけでイヤになってしまふのではなく、さらっと全体をまず見通して、より高度な内容については、文章を読みこなす中で修得していくという方法です。これならそれほどとつきにくくもないし、入試の実態にも適って、短期間に集中的に学習するこ

とも可能なのではないのでしょうか。文章そのもののおもしろさを味わうことはできないけれど、文法だけに着目するのも、一種のパズル的なおもしろみがあると思います。

そういった視点で、私たちはこの「ステップアップノート30」『古典文法基礎ドリル』を作成しました。むろん、文章が読みこなせなければ入試問題は解けません。読解への入門・これまで学習した文法事項の整理として、こうしたドリル形式の問題集を解いてみることは、決して無駄ではないはずで。本書をやり終えて、よりいっそう読解力を身につけたい人は、「マーク式基礎問題集・中堅私大古文演習」・「得点奪取古文」（いずれも小社刊）へとステップアップして行って下さい。この問題集を解き終える頃には、「なーんだ、古典文法なんてたいしたことないじゃん」と思えるようになっていくくれるよう願っています。

平成八年八月八日

❖ 四訂版発行のこあいさつ

本書が刊行されてから、ずいぶん長い時間が経ちました。平成が令和になり、センター試験が共通テストになって、学習指導要領も改訂を繰り返して、受験科目から古文がなくなってしまうた大学も少なくありません。「どの問題集もむずかしいすぎる！ もっとわかりやすいものを作りたい」とみんなで練り上げた本書も、今では文法問題集の「古典」になりつつあります。(笑) 時代とともに、受験生の古文ニガテ病はますます重症化し、授業中も、まるで宇宙語を聞いているような顔をしている受験生が増えていきます。そこで、設問を見直し、例文を差し替えたり注を付けたりして、少しでもわかりにくさを軽減しようと、改訂を行うこととしました。これまでの基本的な姿勢は崩さず、これまで以上に受験生の身近な存在としてお役に立てるよう、工夫したつもりです。「ステップアップノート30」『古典文法トレーニング』とともに、ポロポロになるまで使いこなしていただけたら幸いです。

令和六年六月六日


著者一同

◆本書の使い方

本書は、**ポイント** **基本ドリル** **練習ドリル** から成っています。

1 まず、**ポイント** をじっくり読んで下さい。

ここには、古典文法を勉強するうえで、どうしても知っておかなければならないことが書かれています。「とにかくこれだけは理解してほしい」と私たちが切実に考えていることしか書いてありません。

また、授業中や、答案の添削をしている中で気づいた、受験生が「つまづきがちな部分」に  (チュウちゃんマーク) をつけて注意しておきました。ちょっと気にとめて見て下さい。

2 次に **ポイント** の下にある **基本ドリル** を解いて下さい。

これは、**ポイント** の内容を理解するためのものです、これを解くことによって、「ふーん、そういうことか」と納得してほしいのです。解答は、**練習ドリル** の最後に付けてあります。

3 そして、次のページにある **練習ドリル** に進みます。

練習ドリル は、**基本ドリル** プラス α のレベルの設問から、入試レベルの設問までいろいろです。同じようなタイプの設問が重なっている場合は、繰り返し学習してほしい内容です。少々手強い問題もあるでしょうが、とりあえず自力で解いてみるのが大切です。不可解なところがあったら、すぐに **ポイント** に帰る癖をつけましょう。

4 仕上げは答え合わせです。

一講解き終わるごとに答え合わせをしてください。**練習ドリル** の解答は、目移りすることを避けるために、設問はそのまま、答えと解説を加えた形になっています。解説を読んで理解し、ここで完全に **ポイント** の内容を定着させて下さい。

一度目のチャレンジでどのぐらいできたのかを、各講のタイトルの下にある  お月様マークにチェックしておきましょう。

簡単にできた 
 なんとかできた 
 ほとんどギブアップ 

自分でつけたチェックにしたがって、二度目のやり方を考えましょう。

- **ポイント** と **練習ドリル** をさっと見直すだけでOK。
- **ポイント** なら、少し時間をかけて **練習ドリル** を解き直す。
- **ポイント** なら、もう一度 **ポイント**  **基本ドリル** からやり直し。

3 **4** の繰り返しで、基本的な文法力は、十分身に付くはずで、自分の苦手なところにチェックを入れておいて、その部分を特に繰り返し学習するのも効果的です。志望校合格を目指して、着実に実力を養成していきましょう。途中で放り出さず、最後までがんばってくれることを、講師一同、心から応援しています。

❖ もくじ

| | | |
|----|-------------------------------|----|
| 1 | 古典文法 事始メ <small>コトハジメ</small> | 6 |
| 2 | 動詞(一)・音便 <small>カクシク</small> | 10 |
| 3 | 動詞(二) | 14 |
| 4 | 形容詞 | 18 |
| 5 | 形容動詞 | 20 |
| 6 | 助動詞入門 | 22 |
| 7 | 助動詞(一)「き」「けり」 | 26 |
| 8 | 助動詞(二)「つ」「ぬ」 | 28 |
| 9 | 助動詞(三)「ず」 | 30 |
| 10 | 助動詞(四)「たり」「り」 | 32 |
| 11 | 助動詞(五)「る」「らる」 | 34 |
| 12 | 助動詞(六)「す」「さす」「しむ」 | 36 |
| 13 | 助動詞(七)「む」「むず」「じ」 | 38 |
| 14 | 助動詞(八)「らむ」「けむ」 | 40 |
| 15 | 助動詞(九)「べし」「まじ」 | 42 |

| | | |
|----|---------------------|----|
| 16 | 助動詞(十)「なり」「なり」 | 44 |
| 17 | 助動詞(十一)「めり」「らし」「らし」 | 46 |
| 18 | 助動詞(十二)「まし」「まほし」 | 48 |
| 19 | 助詞(一)格助詞 | 50 |
| 20 | 助詞(二)接続助詞 | 52 |
| 21 | 助詞(三)副助詞 | 54 |
| 22 | 助詞(四)係助詞 | 56 |
| 23 | 助詞(五)終助詞 | 58 |
| 24 | 敬語 | 60 |
| 25 | 敬語法 | 64 |
| 26 | 「ぬ(ね)」「の」の綴別 | 66 |
| 27 | 「る・れ」の綴別 | 68 |
| 28 | 「なり」の綴別 | 70 |
| 29 | 「なむ」の綴別 | 72 |
| 30 | 「に」の綴別 | 74 |

■五十音図・十二支・品詞分類表・重要敬語一覧・

助詞一覧表・助動詞一覧表・旧国名都道府県名対照図・

月の異名、時刻・方位、月齢

15

助動詞(九)「べし」「まじ」

- 「べし」「まじ」の意味と訳し方を覚える。
 □「まじ」は「べし」を打ち消した意味を持つ。



ポイントA

「べし」「まじ」の接続と活用

| 接続 | 基本形 | 未然形 | 連用形 | 終止形 | 連体形 | 已然形 | 命令形 | 活用型 |
|----------------------|-----|-------|------|-----|------|------|------|------|
| 終止形 (ラ変型は 連体形) | べし | (べく) | べく | べし | べき | べけれ | ○ | 形容詞型 |
| 終止形 (ラ変型は 連体形) | まじ | (まじく) | まじく | まじ | まじき | まじけれ | ○ | 形容詞型 |
| 終止形 (ラ変型は 連体形) | まじ | まじから | まじかり | ○ | まじがる | ○ | まじかれ | ○ |

ポイントB

「べし」の意味

- ① 当然 (〜はずだ・〜べきだ・〜にちがいない・〜ねばならない)
 ② 推量 (〜だろう・〜そうだ)
 ③ 意志 (〜よう・〜たい)
 ④ 可能 (〜できる)
 ⑤ 適当 (〜ほうがよい)
 ⑥ 命令 (〜せよ)

「まじ」の意味

- ① 打消当然 (〜はずがない・〜べきでない・〜ないにちがいない)
 ② 打消推量 (〜ないだろう・〜そももない)
 ③ 打消意志 (〜まい・〜ないつもりだ)
 ④ 不可能 (〜できない)
 ⑤ 不適当 (〜ないほうがよい)
 ⑥ 禁止 (〜するな・〜てはならない)

「べし」は最も多くの意味を持つ助動詞で、明確に区別しにくいのが、六つの意味と訳し方を覚えておいて、文脈にふさわしいものを選んでゆく。

基本ドリル

A 次の例文中の助動詞「べし」に傍線を引き、その活用形を答えよ。

- ① わづらひて、心地死ぬべくおぼえければ、
 ② 時鳥鳴くべき時に近づきにけり
 ③ 恐るべかりけるは、ただ地震なりけり。
 ④ 歌の返し、とくこそすべけれ。

| | | | |
|---|---|--|--|
| ③ | ① | | |
| 形 | 形 | | |
| ④ | ② | | |
| 形 | 形 | | |

B 次の傍線部の文法的意味として適当なものを、それぞれ後から選べ。

- ① 黒き雲にはかに出で来ぬ。風吹きぬべし。
 ② 薬のほかはなくとも事欠くまじ。
 ③ 「頼朝が首、わが墓の前に懸くべし」と命じけり。
 ④ ゆめ漏らすまじく、口がためたまひて遣はず。

イ 推量 ロ 意志 ハ 命令 ニ 打消推量 ホ 禁止

| | | | | |
|---|--|--|--|--|
| ① | | | | |
| ② | | | | |
| ③ | | | | |
| ④ | | | | |

15 助動詞(九)「べし」「まじ」

練習ドリルの解答

練習ドリルの解説

1 次の に合うように、「まじ」を活用させて記入せよ。

① 冬枯れの気色こそ秋にはをさをさ劣る 。

冬枯れの景色は秋（の景色）に比べてほとんど劣ることはないだろう。

まじけれ

② この女見では世にある 心地のしければ、

この女と結婚しないでは生きていくことはできない気持ちがあったので、

まじき

2 次の傍線部の現代語訳として最も適当なものを、それぞれ後から選べ。

① 惟光の朝臣の宿る所にまかりていそぎ参るべきよし言へ。

惟光の朝臣が泊まっている所に行って急いで参上せよということと言え。

イ 急いで参上しようということ

ロ 急いで参上せよということ

ハ 急いで参上するだろうということ

ニ 急いで参上できるということ

② 咲きぬべきほどの梢、散りしをれたる庭などこそ見どころ多けれ。

今にも花が咲きそうなくらいの梢や、散りしおれてる庭などは見所が多い。

イ 今にも花が咲きそうなくらいの

ロ 花が咲いたにちがいない頃の

ハ 花が咲いてほしいぐらいの

ニ 今まさに花の咲いている頃の

1 「まじ」は、「べし」と同じく形容詞型の活用をする。

↓ ① 例文中に**係助詞「こそ」**があるので、係り結びで、文末は已然形にしなければならぬ。「まじ」の已然形は「まじけれ」である。

↓ ② 空欄の下に「**心地**」という**体言**があるので、 には「まじ」の連体形を入れる。連体形は「まじき」と「まじかる」があるが、カリ系列は下に助動詞がつくときに用いられるものであるから、「まじかる」ではなく「まじき」が答えとなる。

2 「べし」と「まじ」にはそれぞれ六つもの意味がある。それぞれをどう訳すと前後にうまく意味がつかがるかを一つ一つ考えていく。

↓ ① 傍線部の「べき」は命令（〜せよ）である。「**〜べきよし**」と**いうときの「べし」**は**たいいてい命令**を表し、「〜べきよし」で「〜せよ」ということを「〜」などと訳すことが多い。

↓ ② 傍線部の「ぬべき」は、**強意の助動詞「ぬ」+推量の助動詞「べき」**で、「**きつと〜だろう**」と訳す。だから、直訳すると「きつと咲くだろう程度の」で、それをこなれた訳にすると「今にも花が咲きそうなくらいの」となる。